様式８

令和６年度（2024） 共同利用研究・研究成果報告書

研究課題名	和文：乗鞍岳におけるミューオン強度の精密観測 英文：Space weather observation using muon hodoscope at Mt. Norikura
研究代表者	加藤　千尋(信州大学)
参加研究者	宗像　一起(信州大学) 小山　守一(信州大学) 宮下　直子(信州大学) 林　優希(信州大学) 増田　吉起(信州大学) 松本　瑞生(信州大学)

研究成果概要

今期は，リレースイッチの交換及び機能低下が伺われるバッテリーの交換作業を行って停電時の観測継続時間延長を図った。宇宙線研究所の VPN サーバー交換により観測 PC にとの通信ができなくなる問題が生じたが，宇宙線研究所スタッフのご協力により，無事に通信をおこなう環境に戻すことができた。観測は 12 月初旬に冬季の荒天によって停止し，２月末時点で再開できていない。天候状況によるが，今年度は多少停止までの期間が伸びた。

他方， 南極昭和基地での宇宙線連続観測は順調に継続している。今年度はミューオン計の拡張を行い，これまで１基であったミューオン計を２基体制にして観測を開始した。利用率向上のための公開方法の検討は引き続き行っている。

整理番号 D01